

東京亀城会々報

第35号

発行

平成27年4月28日



東京亀城会創立50周年!!
乞う6月大結集!

50周年記念誌編集中

平成26年度酒東1学年東京キャリア
研修(11月14日)にて。OBOGを
ファシリテーターに。



最上の流れにうるほふりの
学び舎みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



東京亀城会創立50周年記念
平成27年度 総会・懇親会

◎日 時 6月28日(日) 14時より
◎会 場 大手町サンケイプラザ(4Fホール)
◎担当年次 40回、50回、60回、70回卒業
◎イベント 小林綾子 フリートーク



平成二六年度事業

四日、三月二八日

新役員候補

石山尚徳（49回）

[illegible]

2

会長・同窓会長ご挨拶・母校報告

創立五〇周年を迎えて



東京亀城会会長
元木 徹
(42回)

昨年の総会で会長に選任され、早いもので一年が経ちました。これまでの御指導御鞭撻に感謝申し上げます。

さて、今年は東京亀城会創立五〇周年の記念すべき総会を迎えます。

そして、これからの六〇、七〇…周年ひいては一〇〇周年に向けての第一歩となる総会でもあります。

これはひとえに創立者を初めとする諸先輩の熱意とそれを連綿と受け継いできた方々の不断の努力の賜物と感謝に堪えません。

一昨年、創立五〇周年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念事業のいろいろな企画を検討し準備して参りましたが、その記念事業遂行のために、会員や、企業・団体等の皆様に協賛金や御協力をお願いをしたところ、多数の方々より協賛金や御協力をいただき心より御礼申し上げます。

来たる六月二八日の記念総会を盛会で思い出深いものになりたいと思いますので、会員の皆様方が多数御参加くださいますようお願いいたします。

母校への「思い」を



亀城同窓会会長
山岸 文章
(41回)

東京亀城会創立五〇周年誠におめでとうございます。これまでご尽力下さいました、歴代会長はじめ役員の方々に敬意と感謝を申し上げます。

今後とも会員相互の親睦・交流を深められ、母校支援事業の充実と亀城同窓会への更なるご支援を頂ければ幸いです。

先日、母校の卒業式が行われました。卒業生は校長はじめ先生方から教えられる、心身共に逞しく成長し学び舎を巣立って行きました。凛とした雰囲気の中で、金色で「東京亀城会」と刺繍された綴帳も、卒業生の門出を祝って下さいました。夢と希望を抱き多くの先輩が上京しますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

母校の後輩達は「文武両道」「質実剛健」をほしいままに、全力投球しています。亀城同窓会は頑張る母校・後輩達にエールを送り、毎年後援会に協力を金をお上げして激励しております。会員各位から今まで以上に、母校への「思い」をお寄せ頂ければ幸いです。

酒東ルネサンス



酒田東高校長
高梨 博実

東京亀城会の皆様には、日頃より、本校の教育活動並びに東京在住の本校卒業生に対し絶大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。東京亀城会は、今年で創立五〇周年を迎えるとお聞きしておりますが、その活動の歴史には心から敬意を表します。この節目を期に、同窓生同士の「絆」を、更に深めていただきたいと願っております。

酒田東高校に赴任して一年が経ちましたが、ここ酒田の街と酒田東高校が、益々好きになっていきます。その大好きな酒田東高校と酒田を更に元気にするため、残り一年となりました任期を全力で務めて参りたいと考えています。酒田東高校の建学精神である「ボーイズ・ビ・アンビシャス」を受け、昨年度から教職員と生徒たちに示しているキーワード「メイク・レジェンド（新たな酒東伝説を作れ!）」と「オーバー・ユアセルフ（昨日までの自分を超えろ!）」を更に進めて参ります。

今後とも、より一層のご支援をお願い申し上げます。

創立50周年記念特集・酒東一年生キャリア研修

平成二六年度の酒東一年生は七月から、東京亀城会のOBORGが与えた五つの「課題研究ミッション」に、取り組んだ。

- ① 超高齢化社会に立ち向かえ！
- ② 若者の意識を変えろ！
- ③ 農業の競争力を強化せよ！
- ④ 地方を過疎化から救え！
- ⑤ 経済成長のエンジンを開発せよ！

ねらいは、生徒が社会貢献の在り方を具体的に考えるきっかけとすること。そして、社会の現状を知り、多角的な視野を身につけ、課題解決のプロセスを学ぶこと。

生徒は四人ずつの班に分かれ、一つの課題に取り組む。問題点を洗い出し、解決策を考え、二月一四日（金）、国



「若者の意識を変えよ」に取り組んだ一年四組のチーム。若者の意識に影を落としていく要因の一つは領土問題である、という仮説のもと、その解決策を提案しました。

十一月の東京研修の際には、

立オリンピック記念青少年総合センターでの東京キャリア研修で、OBORGをファシリテーターに発表と討論を行った。

今年二月には全チームが英語プレゼンを行い、その予選を勝ち抜いた六チームによる決勝イベント「Sakata Higashi Presentation」が三月一四（土）、母校体育館で行われた。東京亀城会からは、代表で六二回の宮本健一さんと池田大介さんが審査員として参加。さらなる生徒の成長ぶりを報告してくれた。

「Sakata Higashi Presentation」レポート

宮本健一（62回）

三月一四の審査員は、私達二人の他に、東北公益文化大学の先生、山形大

学の留学生三人、酒東の後援会長で、合計七名でした。

当日は「高校一年生の英語だから、それほど驚きませんが、良い意味でとても驚きました。六チーム全てが、原稿を全く見ず、ほとんどつかえることなく、ボディランゲージも使いながら、四人のメンバーが交代で堂々とプレゼンしていました。繰り返し相当ハードな練習を積んできたことが明確に分かりました。話を聞くと、放課後も練習をしたそうです。

最優秀賞は、大多数の審査員の意見が一致して、「農業の競争力を強化せよ」に取り組んだ一年五組のチームが受賞しました。政府が小学一年生の入学祝いに苗をプレゼントするなど六つの対策案を提案したチームです。優秀賞は、

創立50周年記念特集・酒東一年生キャリア研修

先生方が驚くほど、それまでに見せたことのない集中力を生徒が発揮し、その後も、「考える力」「表現する力」など将来必要とされる力を伸ばしてきたそうです。中には、この取組が進路を深く考えるきっかけになって、志望を変えた生徒もいるとか。私の正直な感想は、「過去、受験に必要な勉強以外に『人間力』をこれほど鍛えられた一年生はいないのではないか」というものです。将来、彼らがOB・OGの仲間に入ってくるのがとても楽しみです。それまで、もつともつと成長を続けて欲しいと願っています。

担当教諭を代表して

学年主任 真嶋 亮子（65回）

総合的な学習の時間に、東京亀城会の方々からいただいたミッション、現代社会の答えのない問題について、グループで考え、解決策を英語で提案するという課題研究を行ってきました。東京亀城会の方々の後輩への熱い思いとお力添えのおかげで、生徒たち自身が「考える」ことやチームで物事をやり遂げることの重要性に気づく契機となりました。私たち教職員も、酒東生の持つ大きな大きな可能性に感動を覚え、今後も課題研究の取り組みは継続、発展させていきたいと考えています。ご指導のほど、よろしくお願

いいたします。

酒東キャリア研修に参加して

「若者の意識を変えろ」というミッションのグループに参加した。日本の若者は自己満足感や将来への希望を持っていると答える割合が他国に比べて少ないという。しかし、当日の酒東生は課題に真摯に取り組み、チームワークも良く、堂々とグローバルな考え方を披露してくれた。「世界と結びて平和の日にたつ人とならん」。グローバルな希望に満ちた発表であった。

岡崎理香（54回）

今回の課題に取り組む前と後で「農業」の印象が変わり、興味がわいたと皆が答えてくれました。こうした経験を通して視野が広がっていくのでしょう。生徒全員それぞれに可愛く、日本の未来は明るい！と感じました。

森田美佳（63回）

皆さんが真摯に取り組む姿に刺激を受けました。英語力の重要性が高まっている昨今ですが、僕らにしか話せない「庄内弁」も、とても大切な素晴らしい言語です。ぜひ「庄内弁」も、もっとしゃべってみてくださいのー！

阿部彩人（74回）



▲大学生の先輩たちに学ぶ



▲社会人の先輩たちと課題研究発表

今後も、母校へのこうした支援は続けていきます。東京亀城会会員の皆様、ご協力よろしく願いいたします。

生徒の感想

課題研究と発表会を通して

学んだこと

○どの班の最終発表もポイントがまとまっていてグラフや英語もわかりやすかったので、他のテーマについても考えさせられました。さらに一生懸命取り組みむことで大切なことを得られるのだと学びました。確かに部活や勉強で忙しく時間がないけれど、頑張ったからこそ達成感があるし、仲間もできるとわかったので、これからまた頑張っていこうと思いました。

○この世には答えがない問題がたくさんあるのだと改めて感じました。広い視野を持って社会に貢献できる人になりたいです。

○同じテーマでもたくさんの意見、解決策があり、また、伝え方もあって、驚きました。この活動で、一つのことにもいろいろな方向から考えることを学びました。「よく考える」ことを大切にしたいです。

○仲間がいることの大切さを改めて学びました。一人ではできないことも協力すればできるということはこのミッションで実感しました。

○自分の意見だけでなく、相手の意見も聞いてチームを作る大切さがわかった。いろいろな人と意見を交わし、自分の考えを広げたい。

ファシリテーターとなった東京のOBOG

- 43回 澁谷 英夫（技研興業株式会社）
- 54回 岡崎 理香（岐阜女子大学南アジア研究センター特別研究員）
- 56回 河島 三二（株式会社日立システムズ）
- 59回 三浦 琢揚（株式会社code-name）
- 60回 白畑 優（株式会社みずほフィナンシャルグループ）
- 62回 池田 大介（三菱商事株式会社）
- 62回 小野寺 良恵（独立行政法人国際協力機構〈JICA〉）
- 62回 中野 幸伸（ペリ クラーク ペリ アーキテクト ジャパン 株式会社）
- 62回 宮本 健一（独立行政法人産業技術総合研究所）
- 63回 森田 美佳（株式会社ヤマジン）
- 65回 佐々木 亜希子（活動弁士）
- 70回 野崎 誠（わかばひふ科クリニック、医師）
- 70回 松村 洋一郎（国立音楽大学・大東文化大学ほか講師、音楽学者）
- 72回 齋藤 剛（プルデンシャル生命保険株式会社）
- 74回 阿部 彩人（EMTG株式会社）
- 75回 石向 桂一（独立行政法人宇宙航空研究開発機構〈JAXA〉）
- 75回 柿崎 佳奈子（日産自動車株式会社）
- 75回 野崎 潔（ワイモバイル株式会社）

○今回の五つのテーマは、自分たちに関係なさそうで意外にこれから重要になってくるテーマだと思う。解決できるのは、今を生きる若者だと思つた。自分ができることを少しずつしていくことで、将来、日本や世界を助けることになるのかなと思う。

○考えることはとても大事だけど、それを行動に移さない限りは何も変わらないと思つた。
東京亀城会では「母校支援委員会」を組織し、今後後輩たちの支援を行っていきます。

酒田は
第二の故郷

八木文明

私は一九七八年四月から七年間生物の教師として勤務しました。正式な教員として最初の、また教員生活の中で最も長く勤務した学校であったことなどで、今も強く印象に残っています。

新任式場で初めて校歌を聞いたとき、その素晴らしい歌詞と旋律に気持ちがいそがしかったことを懐



「葉っぱ塾」のフィールド、長井葉山にて

かしく思い出します。風光明媚なことを歌うだけでなく、どんな人間になりたいのか、目指すべきなのか、明確に表現されていきました。

陸上競技部の顧問を六年間していました。陸上競技では伝統のある学校でしたので、当時の生徒の皆さんに何度か全国インターハイにも連れて行ってもらいました。鹿児島は、今でも私が最も遠くまで行ったところでもあります。

私は酒田から郷里の置賜に戻りましたが、酒田が自分の第二の故郷のように今も感じています。

定年を待たず七年前に教職を辞し、今は「葉っぱ塾」という名前で自然体験活動の取り組みを行っています。活動の中で山のガイドをすることもあり、あの頃は見上げるだけだった鳥海山にも何度か登りました。東日本大震災の支援も、重要な活動の柱になっています。

八木文明先生元気だが

* 母校創立百周年支援積立金特別会計

		平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
		金 額	金 額	金 額
収入	前年度繰越金	1,454,570	1,805,581	2,299,715
	寄付金収入	348,000	492,000	291,000
	利息	3,011	2,134	1,915
支出		0	0	0
差引	次年度繰越金	1,805,581	2,299,715	2,592,630

代表 齊 藤 淳 （五一年卒） 代表取締役 菅 原 幸 夫 （四二回卒） 代表 高 橋 常 昭 （四六回卒） 代表 遠 藤 功 （昭和四四年卒） 代表 元 木 徹 （昭和四二年卒）	代表 齊 藤 淳 （五一年卒） 代表 高 橋 常 昭 （四六回卒） 代表 遠 藤 功 （昭和四四年卒） 代表 元 木 徹 （昭和四二年卒）	代表 齊 藤 淳 （五一年卒） 代表 高 橋 常 昭 （四六回卒） 代表 遠 藤 功 （昭和四四年卒） 代表 元 木 徹 （昭和四二年卒）	代表 齊 藤 淳 （五一年卒） 代表 高 橋 常 昭 （四六回卒） 代表 遠 藤 功 （昭和四四年卒） 代表 元 木 徹 （昭和四二年卒）	代表 齊 藤 淳 （五一年卒） 代表 高 橋 常 昭 （四六回卒） 代表 遠 藤 功 （昭和四四年卒） 代表 元 木 徹 （昭和四二年卒）
---	---	---	---	---

23回

七人の「侍」に
なつてしまった

後藤 健



常任幹事交替と都心再開発による
会場閉鎖のため、同期会を一回お休
みしたが、昨年一〇月二五日、数寄
屋橋「桃杏楼」で再開できた。高橋
憲造君が転居先の皆生温泉から駆け
付けたが、夫々高齢のため身体的故
障や介護等の事情があり、全体の参
加は七人になってしまった。
相馬大作君が死去し、酒田市から
市長時代の功績に対し「特別名誉市
民」の栄誉が贈られた。酒田市公報
によれば昭和六二年の前田巖さんに
次いで二人目である。大谷義雄、風
間吉也、小松康世、庄司等、鈴木隆
司、高橋の諸君と思い出話で冥福を
祈った。
校歌、応援歌を合唱出来ず、残念
であつたが此の会場で継続する事
にしたところ三月末にクロースと
の。駅の側
で分かり
易く、校
歌を合唱
出来る会
場を探し
難題に取
り組んで
いる。

28回

佐藤(西高)
みつ先生逝く

五十嵐昌士



みつ先生は女学校(現西高)に昭
和一七年から体育の先生として奉
職。一三年に新制高等学校が発足し、
二五年に酒田高等学校となり旧一高
と三高が合併。新入生は全部で一〇
組でその内の一組の正担任が「みつ
先生」。男子を担任するのは初めて
の経験だったそうです。(当時副担
任もいました)
二三年間の教員生活を西高校を最
後に結婚のため退職し、山形市内で
生活していました。
そのみつ先生が今年一月二二日老
衰で長寿を全うし、九六歳でお亡く
なりました。

その時の
新入生で且
つ一組に在
籍していた
のが私です。
(男子二
三名、女子
二名、女
子二名在
籍)今でも
「一の会」
(酒東二八
会)として
集いつて
います。
先生の
冥福を心
からお祈
ります。

29回

歩こう会一〇〇回
記念は古里歩き

富樫弘喜



総会は五月二四日(土) ドタキャ
ンが続出し、四四名でNHK青出荘
にて開催、二三年ぶり参加の石塚君、
土佐高知のはりまや橋より立石さん
が加わり華を添えました。
平成一六年天皇誕生日が第一回の
歩こう会も一〇〇回を迎え、「古里
を歩こう」を合言葉に六月一八日酒
田駅に集合。学生当時一年通った女
学校までの道筋、途中「きうりてん
のうさん」にお参り。すっかり変わ
った学校跡を見学、今町を通り光丘
神社・日和山公園を巡り、約六〇〇
〇歩で散策。宿泊先の松山「さんさ
ん」で本部の歓迎を受け宴会を。翌
日は羽黒山参拝、土門拳記念館、山
茂水族館を始め、土門拳記念館、山

居倉庫等々を
見学した有意
義な一〇〇回
記念会でした。
還暦時に結
成された「コ
ラスふくのか
い」も、当初
希まどと予定
してましたが、
なんのなんの
傘寿はおろか、
まだまだ終え
る。さてもあ
りませ
ん。さてこれ
らどうする東
京ふくの会!

31回

「キョウウヨウ」と 「キョウウイク」

小山嘉吉



関東三一会は総会、ウオーキングなどのイベントを毎年中断することなく続けて来た。散策は横浜や井の頭公園、飛鳥山公園、王子稲荷など。総会・懇親会は、一昨年は横浜インターコンチホテルでの高級感漂う洋食にワイン、昨年は新宿「大志満」で純和食の加賀料理を楽しみながらであった。

喜寿を過ぎた我々ではあるが、それぞれの近況を聞くと、決して家でボーッとしている訳ではない。活動的である。少し言い古された感があるが高齢になつて身体的・精神的に健康でいるためには「キョウウヨウ」と「キョウウイク」が大切だと言う。今日用がある、今日行く所がある。

我々にはまだまだキョウウヨウとキョウウイクがある。三一会はかつて総会の前に会員による講演会を行っていた。作曲家、評論家、料理家：などといわれるプロと言われる人を講師にと考えたが、「六〇年も生きて来た人は皆プロだ。我々同期

33回

東京燦々会の近況

白崎健助

の仲間には皆それぞれのプロなのだ」と発言した人があり、同期を講演者に七、八年実施した。懇親会での出席者近況報告も、たとえ二、三分ずつでも人生プロの貴重な傾聴すべき話として大切にし、これからも実のある総会やイベントを考え、少ない人数でも有意義なものにしたい。



我々同期生は今年三月末で全員後期高齢者の仲間入り。平成二〇年一〇月末に卒業五〇年を記念して酒田で燦々会を催し、八四名の出席者を得て五〇年ぶりの母校訪問に感激しました。昨年の燦々会は簡素な会を旨に、ひたすら飲・食・談に集中すべく横浜中華街萬珍樓を会場とし、いみじくも三三名の出席となりました。その他有志での鰯汁会を銀座のおばこで毎年二月にやっています。二組のクラス会は毎年三月におばこで催していますが、四年前の三月一日の会終了間際にあの大地震に遭遇し帰宅が翌日となった人もいたようです。今年も、クラス会は三月一日におばこで「献杯」で始まりました。

34回

酒田での三四会

今田竹彦



今回の三四会は酒田の花火を見ながら集まるということ、昨年八月二日鳥海温泉「遊樂里」に集合しました。当日は地元を含め各地から三三名が集まり、「花火会場」の最上川河口特設会場には車で向かいしました。天気も良く絶好の花火日和で会場は大勢の人で埋まっていました。翌日は朝食後仲間の車に分乗して加茂水族館に向かいました。同館はクラゲ水族館として全国的に有名であり、クラゲの水槽前は大勢の人ばかりでした。そこを出て、船番所、ふるさと味米館等を見学、肘折温泉の旅館「元河原湯」で温泉に浸り、疲れを取りました。最終日は、朝食後、車で最上川三難所川下り。村山の基点で乗舟し、変化に富んだ流れと船頭の民謡を聞きながらの舟下りは懐かしかったです。楽しいものでした。終点の「はやぶさ」に到着後昼食をとり、解散となりました。次回は今年の六月姫路城への旅が計画されています。

後、車で最上川三難所川下り。村山の基点で乗舟し、変化に富んだ流れと船頭の民謡を聞きながらの舟下りは懐かしかったです。楽しいものでした。終点の「はやぶさ」に到着後昼食をとり、解散となりました。次回は今年の六月姫路城への旅が計画されています。

です。多くの会員に会えることを楽しみにしております。

35回

「東京珊瑚の会」の

新年会

阿部 浩

毎年一月第三土曜日は東京珊瑚の会新年会です。

卒業は昭和珊瑚年（三五年）、今年の新年会は珊瑚回（第三五回）を迎えました。これまで継続して来た一つの要因として同期生の相馬君が経営する郷土料理のあ店「おばこ」の存在は大きいです。銀座で郷土料理を戴きながらの新年会は贅沢かも？ しかも超廉価で大サービスは嬉しいで（店主の熱意に感謝）。幹事長伊藤君の、毎年新企画を考えて皆に案内する熱意には感謝します。今年は定番の出し物の他に、酒田、



長崎との同時開催（二年前から）でした。が、ダブルの動画での遣り取りは懐かしい顔と向き合っている最高の気分でした。もう一つ新企画は山口さんと伊藤君とのウクレレと三味線のコラボレーションで、皆で歌った事も良かった事

すね。飛び入りで吉泉君の詩吟には皆驚き！楽しい新年会でした。当たり前のように気楽に毎年参加する事をその年の目標の一つに「健康管理」をし、感謝しながら楽しいひと時にしたいものです。

36回

草津温泉に集う

小出和子

首都圏支部主催で、昨年五月三日から一泊で酒田・山形・名古屋から二一名が草津温泉に集合した。一日目は、午後から湯畑・光泉寺を回り宿に帰って酒田や前橋などから集まる仲間を待ちながら温泉につかった。二日目は快晴の草津白根に登り、ミントグリーンの湯釜を眺めた。途



中富士山を始め北アルプスの連山や南アルプスなどを一望に眺める事が出来る幸運に恵まれた。「最上川舟歌」を、参加者が歌えるように同期の宮下氏に指導していただいた。学生時代に酒田に帰ると元芸者さんの「よっちゃん」に特別に教えてもらったのだそうだった。「酒田さ」は声をあげてこ

ぶしをきかせて、「塩がしょっぱくて喰らわねえ」は塩ではなくて「しょ」と言わねばならない。次回もまた指導してもらったこととなった。

二次会では、温泉巡りの時に見つけた地酒を囲んで、バスの中や湯畑の散策で作った俳句の講評を金子兜太の愛弟子である米山氏にお願いした。もちろん五・七・五に季語が入ってればよいと言う条件である。どれも一生懸命まとめあげようとした形跡が見られて実に楽しい。

「友死にて 鳥海山に 星飛びぬ」

「風呂上がり 美人に見えて 五月闇」

「正調の 最上川舟歌 カエル鳴く」

今年は五月三〇日から一泊で日光の予定。酒田の定例会は通年八月一日に開催予定、ご期待ください！

39回

佐藤輝さんの

応援観劇

小松 昇

東京三九会分科会は、平成二六年二月九日、一〇人で「スクエア佐原」にて、同期の俳優佐藤輝さんの応援観劇をしました。「忠臣蔵」元禄仇討ち裏事情」という芝居で、佐藤輝さん



は主役の水戸黄門！ 生の舞台の迫力、熱演を肌で感じました。終演後、輝さんをみんなで囲んで記念撮影。輝さん、感動をありがとう！

41回 「来年は当番幹事年」 総会への出席を 金井敏明

ベビーブームの第一期生の我々四一回卒生も今年は卒業四九年。来年は早いもので五〇年（半世紀）、古希を迎える時期になりました。また来年は同時に東京亀城会の当番幹事（実行委員）を担当します。

現在酒田の亀城同窓会は同期の山岸文章君が会長を務めており、会長就任以来東京亀城会総会に来賓として毎年出席しております。我々同期は総会・懇親会終了後の二次会の席で山岸会長を交えての懇親会を重ねており、今年も同じように開催予定です。

今年、来年度は当番幹事と続きますが、今年、来年度は盛大に開催できるように総会への多数の出席を切望致します。

42回 ハイペースな交流 菅原幸夫

今年の誕生日で全員六七歳。悠々と勇退の人生あれば、未だ現役で仕事する人生あり。又、病に勝利の人生もあり、それぞれの個性ある人生を歩むのが我々四二回生だ。しかも元氣ハツラツ。

二月には、横浜方面でのハイキング。三月末には、山形市内で仙台に赴任する同期への激励会。五月には北陸新幹線開通に合わせて、金沢一泊ツアーの開催。現地では、金沢在住二八年の同期N子さんが受入れ準備に走っている。上半期のメインイベントは、三月二八日の池袋同期会だ。今回は、酒田・山形・金沢・米国からも参加。写真のとおり、日常、メールと掲示板を活用し連絡・報告している四二回生。電脳活用ではトップランナーである。

44回 四六年目の再会 池田義寛

今年の「いなほ会」は、一月七日一二名が参加し新宿で行われた。今回の主役は何といっても、卒業後四六年目にして初参加の益佳子さん（旧姓中村）であった。聞けば、酒東卒業後大学、社会人としてずっと東京に居られたとのこと。この間我々とはどこかですれ違っていたのでは？と不思議な思いであった。

当日は、昨年夏酒田で行われた四四回卒「獅子の会」の集合写真を見ながら、郷里の友の様子を伝え聞き大いに盛り上がった。同会のメンバー



泊ツアーの開催。現地では、金沢在住二八年の同期N子さんが受入れ準備に走っている。上半期のメインイベントは、三月二八日の池袋同期会だ。今回は、酒田・山形・金沢・米国からも参加。写真のとおり、日常、メールと掲示板を活用し連絡・報告している四二回生。電脳活用ではトップランナーである。

45回 同期会を終えて 伊藤（原田）稔



には、益さん同様四六年間会っていない友が数多くいることに改めて気付いた。後日我が家の食卓に上った酒田・山形・米国の「きもと」を食しつつ、例の集合写真を思い浮かべ、今年のはあの人かには是非とも会いたいとの気持ちが強くなった。



第三回四五期東京同期会を、昨年一〇月一八日、盛況の内に無事終了する事が出来ました。

今回は前回より九名ほど少ない三名での開催となり、前回の同様に、楽しい一時で有ったと思っております。又、二次会もほとんどどの参加が大いに盛上がり、歳も忘れ夜遅くまで歌い語り合いました。これらを契機

に青春時代を共に過ごした懐かしい仲間がどんどん多く成って行きますよう、又、同期会が未永く続きますよう、頑張つていきたいと思います。この度、実行責任者として携われて良かったと考えます。

54回

東京オリンピックで
還暦を祝おう

岡崎理香

五四回卒の同期会は「梧葉会」と言います。梧葉とは青桐の葉のこと、朱子の「偶成」が典拠です。

少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んずべからず。

未だ覚めず池塘春草の夢

階前の梧葉すでに秋声

なんとびつたりの命名でしうか。

私たちも亀城会ではまだまだ「ひよっこ」だと思つていましたが、二〇二〇年には還暦です。東京オリンピックとも

に還暦を祝おうと約束しています。

今年の関東梧葉会は地元酒田と遊

佐から三名、福島や京都からと遠方

からの参加者を含め二〇名

が参加しました。

まるで修学

旅行のような

盛り上がり。

「東京オリ

ンピックで還

暦を祝おう」

を合言葉に

益々絆を深め

る梧葉会で

す。



57回

先輩・後輩と第二の
音楽人生を満喫

吉田 聡

このところ中高年の楽器ブームがマスコミ等で話題になっていますが、二年前にギターを始めてから、初心者の方で第五六回生の河島三二先輩（バイオリン）と何度か共演させていただいております。写真は今年二月一日に赤坂のライブハウスで開催されたセッションイベントで、

本番の映像は文末のYouTubeのサイトでご覧いただくことが出来ます。

東京亀城会では、他にも第五七回

生の長澤真理さん（ドラムス）や第

五八回生の梅津功さん（ギター）な

ども、新たに楽器を始めた同窓の友人

も多く、いつか東京亀城会総会でも

自分たちのバンド演奏を披露したい

と計画しております。仕事や子育て

に漸く一段落する年齢となり、新た

に一生取り組める趣味として、楽し

みながら、四苦八苦しながら、同窓



の仲間達と一緒に音楽活動に取り組んで行きたいと考えております。

【河島・吉田共演映像URL】

<http://youtu.be/Z1L9Fzw2Gk>

63回

ついに亀城同窓会の
幹事年

森田美佳

卒業してから二十七年が過ぎました。

既婚・未婚・婚活中それぞれの生

活があるのは何年経とうが変わらな

いものですが、時々耳にする同級生

の子供の年齢がとても幅広い、と感

じるこの頃。数年前から、子供が母

校に入学したとか大学に入ったとか、

よく聞くようになったなあとと思つて

いたら：なんと、孫ができていた同

級生がいました。確かに結婚も早く

ったけど、同じ歳でおばあちゃん

は！徐々にそんな年頃には突入なの

ですね。それでも同級生とは思議

なもので、何年ぶりに会つても話せ

ば当時のまま、当時話したことがな

くても何故か盛り上がる、そんな面

白さがあります。

今年は一月に酒田で行われる亀

城同窓会総会の幹事学年です。一生

に一度の担当が回ってきました。

ぜひこの機会に大集合しましょ

う！皆さんに再会できることを楽し

みにしています。

65回

過去最高の参加

同期忘年会

山科範泰

昨年一二月一九日、毎年恒例とな

74回

渋谷で「寒鰯汁 フェスタ」開催。

阿部彩人

同期七四回卒の高橋大介氏が料理長を務める、渋谷道玄坂の熊本居酒屋

形が全く変わらない人もいれば、色々な意味で別人の様になっちゃった人もおり、同じクラスでも高校時代まったく話した記憶のない人など、今回ほど、持参した卒業アルバムが大活躍した同窓会はありませんでした(笑)。

今は職業も住まいも皆それぞれ異なりますが、例えば庄内弁が飛び交う同期生、いつもこの場で同期の絆の深さを感じます。後日、別途ミニクラス会をされた方もいるようで、この会を通じて同期の交流が深まっていくのを聞くのは嬉しい限りです。

二〇一五年度の同期会は更に参加数が増えました、と来年も報告出来れば良いな、と今から楽しみです。



りました、第六五回生同期会&忘年会が、今回は池袋にて開催されました。嬉しい事に毎年参加者が増え、今回は過去最高の参加数に。

例によつて、昔と姿

77回

七七会の発足

齋藤知明

少し前の話になりますが、二〇一三年一月二日にホテルリッチ&ガーデン酒田で、第七七回卒業の代は

芋煮、庄内の地酒など、様々な「んめもの」を楽しむ宴。なんで熊本居酒屋なのに寒鰯汁!?という疑問はさておき、庄内人・山形人はもちろん、それ以外のご出身の方も含め、一五名が集結。酒東BOGも、下は七五回卒から上は五八回卒まで多数参加し、食べ物も酒も美味しく大変な盛り上がりを見せました。

こういう庄内の味覚を首都圏で味わえる機会というのはとてもいいものですし、庄内以外の人にも庄内の魅力を知っていただけるきっかけにもなると思っています。ご参加いただいた皆様、もついででした!そして、タカダイ、ありがとうございます。せば、まず。



屋「新市街」にて、去る二月十五日「寒鰯汁フェスタ」が開催されました。

タカダイこと高橋大介氏が腕によりをかけて作る庄内の郷土料理「寒鰯汁」や、庄内味の



「七七会」の発足総会と同期会を開催しました。当日は、一〇〇名を超える同期生が参加したほか、当時の学年主任の富樫郁遷先生以下、クラス担任であった大隅晃弘先生、大谷薫先生、松村宜典先生、楨紀子先生、井家勝己先生にお越しいただきました。途中、先生方の専門教科に関する問題をクラスごとに解き、さらにそれを先生それぞれに解説していただくゲームをしたのですが、当時と変わっていない教え方に会場は盛り上がりしました。

現在も七七会は、Facebook上にページを作り、情報交換を密にこなっています。今年度で三二歳を迎えることになり、会社で責任を持つ立場になったり、結婚して子どもが産まれたりと、公私にわたって奔走している人が多く、なかなか集まる機会を設けることができていないのが現状です。しかし、Facebook上で同期生が活躍しているのを見るときは、自分も頑張らねばと励まされています。

平 田



◇里山平田のシンボル「十二滝」

平田地域の北俣地区には、飽海三名瀑のひとつ「十二滝」があります。

その名のとおり大小12の滝が、連続して岩肌をつたい流れ落ちます。白い水しぶきと、緩急の変化ある水の流れが、独特の風情をかもし出す美しい滝です。

これから夏までは、水量が豊富で周囲の新緑とのコントラストが見事です。秋には、色鮮やかな紅葉が出迎えてくれます。冬にはスノーシューをはいて氷瀑の十二滝に出会えるかもしれません。

四季折々にそれぞれ表情を変え、私たちに里山の魅力を発信してくれる十二滝ですが、近年の豪雨災害により対岸の滝見台が消失してしまいました。幸いにも十二滝は昔のままの姿をとどめています。これからも永く十二滝の姿を守り続けていきたいと考えております。

(平田総合支所 地域振興課)

八 幡



◇観光パンフレットをリニューアル

酒田市八幡地域、鳥海山の魅力を満載した観光パンフレットが出来ました。今まで問い合わせがあっても対応出来なかった八幡地域限定の内容です。

高山植物、鶴間池など鳥海山の見どころ。また、地域の観光の目玉である玉簾の滝や、湯の台温泉鳥海山荘、八森温泉ゆりんこなどの宿泊施設、温泉施設も掲載しました。自然に親しめる鳥海高原家族旅行村、八森自然公園も案内しています。

舞鶴公園桜まつり、八幡の夏まつりなどのイベント、鳥海高原ヨーグルトなど特産品も紹介しております。

鳥海山は、人気トップ10に入る山です。シーズン中は全国から登山者が訪れます。近年は中高年に加え、山ガールも増えています。

(八幡総合支所 建設産業課 後藤啓 53回)

松 山



◇松山城址館が完成

大手門のある松山歴史公園内に「松山城址（じょうし）館」が完成しました。

「松山能」をはじめとする地域民族芸能の保存・伝承、生涯学習や芸術文化活動の拠点とするものです。

能舞台と150席を備える多目的ホールのほかに、茶室、研修室（和室）などがあります。

能楽に限らず、各種講演会、発表会、会議・研修会でも利用可能なものです。

1月21日には現地で竣工式が行われ、テープカットとともに使い初めとして地元「松調社（しょうふうしゃ）」による狂言が披露され、完成を祝いました。

新しい施設はできましたが、同時に地域課題である賑わいつくり、交流人口増加につなげるため、今後の有効的な活用が求められています。

(松山総合支所 地域振興課)

昭和三十三年卒
酒田東高校
東京 燦 燦 会

代表 相川 俊明
連絡先 阿部 尚記

TEL/FAX
〇三—三九四八—三三九〇

昭和二十九年卒
酒田東・西高校
東京 ふくの会

連絡先 本 間 英 生
自宅 〇四八〇(三三)四〇三七

昭和二十八年卒
酒田東・西高校
東京 二八会

会長 前田 滋
事務局 松戸市小金原七—十一—二
五十嵐 昌士
〇四七—三四五—四〇八四

相川・田中法律会計事務所
弁護士 相川 俊明
(昭和三十三年卒)

東京都新宿区四谷一—九
有明家ビル6F
電話 〇三—三三三—四六三八
FAX 〇三—三三三—四三三八

酒 田



◇全国ねぎサミット酒田市開催！

日本人が好きな野菜ランキングの第4位は「ねぎ」だそうです。ねぎは、煮ても焼いてもよし、生での薬味でも、食卓の名脇役の万能食材です。酒田市では、一般的な白ねぎの「ねぎらい（商標）」、冬に出回るやわらかく甘みが特徴の「軟白ネギ」、そして、ご存知「平田赤ねぎ」が特産です。最近では、新潟、秋田も産地化され、酒田産を上回る勢いになっている現状です。そこで、庄内のねぎの産地化、特産化を目指して、「全国ねぎサミット」を開催することとしました。皆さんは、このサミットはご存知ですか？

このサミットは、2010年に埼玉県深谷市から始まり、ねぎの消費拡大と技術向上を図るため、全国のねぎ産地が一室に会するイベントです。酒田市も、第1回目から伝統野菜である「平田赤ねぎ」で参加してきましたが、今年の10月31日(土)～11月1日の2日間、酒田市の国体記念

体育館を中心に開催されます。東北初開催のため、東北は全県から参加、他、深谷ねぎ、下仁田ねぎ、九条ねぎなど、全国で有名なネギ産地の25市町がこぞって参加する予定です。「復興の思いを東北に」のスローガンに掲げています。食の祭典として、農産物、水産物、林産物の販売の他、芋煮、海鮮丼、酒田のラーメンなどのコーナーを設けるなど、来ていただいた方が満足するイベントです。

また、平成28年度開催の皇室三行事である「第36回全国豊かな海づくり大会」の記念式典が希望ホールを会場に開催されることから、この大会をプレイベントとして位置付けています。全国にいい酒田を売り込む絶好の機会と捉えています。ぜひ、東京亀城会の皆様のご来場をお待ちしております。

(酒田市農林水産部 白崎好行 49回)

遊 佐



◇三崎公園が国指定名勝に

平成27年3月10日、日本海沿いで山形・秋田県境に位置する三崎公園が、「おくのほそ道の風景地三崎（大師崎）」として国の名勝に指定されました。

三崎公園は、元禄2年（1689年）、東北・北陸地方を旅した松尾芭蕉が見た景観を今に伝え、鬱蒼としたタブ林を抜ける旧街道は、往時の面影を彷彿とさせるものがあります。

三崎地域は、中国から渡来した日本最古とされる青銅刀子（東京国立博物館蔵）が昭和29年に出土、近くは戊辰戦争の激戦地であったことなど、歴史上の要衝でした。今は、国道7号を車で走れば一分もかかりませんが、遊歩道から芭蕉も見えた雄大な日本海を眺めるのも一興と思います。その際、崖下の不動崎の先端で黒鯛釣りをしている人がいたら、それは私かもしれません。

(遊佐町教育課長 高橋務 54回)

東京亀城会会報第三五号

- 発行 二〇一五年五月一日
- 発行者 元木 徹
- 編集人 高橋常昭
- 編集 瀬尾亜希子
- 発行所 東京亀城会
- 東京都中央区銀座一丁目一八六
- 井門銀座一丁目ビル五階
- 元木徹法律事務所内
- 問合先 高橋常昭
- 電話 〇四二・八六〇・〇二八三

編集後記

原稿をいただき拝見するたびに、同期、同窓の和はいいものだししみじみ思います。昨年は私もキャリア研修にOGとして参加しましたが、母校の後輩支援をきっかけに、三〇代四〇代の卒業生にも繋がりつつあります。同郷の先輩と後輩との交流が自分を豊かにしてくれそうです。縁を大事にしたいものです。 瀬尾 (65回)

◎東京亀城会事務局より

同期と同窓で、会報や総会懇親会案内が送られていない方がいらしたら、住所不明になっていきます。同窓会事務局までご連絡いただければ、お呼びかけください。
kinfo@kijokai.net
東京亀城会 ホームページ
<http://www.kijokai.net/>

東清株式会社

代表取締役会長

金 湖 東 吉

東京都大田区大森北一丁目一五
大東ビル二二〇号
電話 〇三三七六一七七八

平成27年度 東京亀城会創立50周年記念 総会・懇親会のご案内



■地下鉄 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線
 ■J R 大手町駅下車A4・E1出口直結
 東京駅丸の内北口より徒歩7分

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
 Tel:03-3273-2257~9 (直通)

平成二七年度総会・懇親会のご案内
 ◎日時 六月二八日(日) 一四時より
 ◎会場 大手町サンケイプラザ四階ホール
 ◎電話 〇三三三七三二二五八
 ◎懇親会費 会員 八〇〇〇円 学生 二〇〇〇円
 ◎酒類の持ち込み可
 ◎イベント 小林綾子フリートーク ◎五〇周年記念誌進呈

後輩を応援し、心のよりどころとなる会を目指して
 今年、東京亀城会は創立五〇周年を迎えます。これを機に、本会を、旧交を温める場であると同時に、後輩を応援する会として幅広い世代が参加して交流し、今後の発展のきっかけとなれどと考えています。昔からなじみのある同期との交流はもちろん、幅広い世代が集まり、アットホームな雰囲気でも懇親ができる場とします。
 上京したばかりの学生、就職活動中の学生、新入社員、中堅として活躍中の三〇、四〇代などの後輩をふるさとの先輩としていつも応援したい…。
 そんな思いで準備を進めてきました。今年は、「おしん」の子役を演じた小林綾子さんをゲストに、酒田の思い出など伺いながら皆さんと交流予定です。
 酒田からお酒や郷土料理を取り寄せてお待ちしております。
 五〇周年を機に、初めての方々にもたくさんご参加いただきたいと思います。お待ちしています。

名誉実行委員長 堀 修二
 実行委員長 白畑 優

酒田東高等学校 昭和三六年卒業 業 我が集う 山麓会 ここにあり、集まろう 毎年八月一日 於ベルナール酒田	昭和三五年卒 酒田東高校 東京珊瑚の会 有志一同	昭和三四年卒 酒田東高校 東京三四会 有志一同	EPSON EXCEED YOUR VISION EPSONブランドを支えるもの 最先端テクノロジーと ものづくりへの熱いまなざし  東北エプソン株式会社 酒田市十里塚166-3 Tel.0234-31-3131 (代) http://www.epson.jp/tohokuepson/
BIPOS バイボス 美しきで情報を伝えます！ コストダウンでサポート 汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工 オンデマンドシステムで対応 情報処理のビジュアル化をフルサポート 最短の時間と最小のコストをお約束 印刷の事なら 株式会社 文栄社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-4 ☎ (03) 3662-1951 FAX (03) 3661-9735 http://www.bbe.ne.jp E-mail:bunei@bbe.ne.jp	昭和五四年卒 酒田東高校 梧葉会 連絡先 阿部浩美 電話 〇四八(四六七) 二三八二	昭和四六年卒 酒田東高校 酒東「巽」会 連絡先 高橋常昭 電話 〇四二(六七五) 八〇九七 FAX 〇四二(六七五) 八一九五	